

平成26年度（10月） 第7回浜北区協議会 次第

日時：平成26年10月2日（木）午後1時30分から

会場：浜北区役所 北館3階 大会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 諮問事項に対する答申

ア 浜松市浜北体育館の廃止について

【資料1】

イ 平成27年度浜北区役所費予算要求の概要について

【資料2】

3 その他

(1) 地域力向上事業 市民提案による住みよい地域づくり助成事業の
二次募集の開始について

(2) 森岡の家について

(3) その他

(4) 次回の開催予定

4 閉 会

第 1 0 号様式

浜 北 区 協 第 号

平成 2 6 年 1 0 月 日

(あて先) 浜松市長

浜北区協議会

会 長 川上 正芳 印

諮問事項に対する答申について

平成 2 6 年 9 月 1 9 日付け浜市協第 1 5 0 号で当協議会に対して諮問のあったことについて、浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第 1 1 条第 1 項から第 3 項の規定に基づき審議した結果、下記のとおり答申します。

記

- 1 答申内容 別紙第 1 1 号様式のとおり

(案)

第11号様式

諮問事項に対する答申書

浜北区協議会

件名	浜松市浜北体育館の廃止について
諮問内容	浜松市浜北体育館を、条例の一部改正により平成27年3月31日をもって廃止するため、区協議会に諮問を行うもの。
答申	<p>諮問内容について審議の結果、適切であると認めます。なお、本協議会において次のような意見がありましたので申し添えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域のスポーツ振興のために、新体育館建設事業を計画どおり進めること。
備考	

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	浜松市浜北体育館の廃止について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>背景：現浜北体育館は、昭和43年開館以来47年が経過し、老朽化が著しく、耐震性も劣っていることから、利用者の安全確保を第一に当該施設の廃止・継続を含めた抜本的な見直しを進めてきた。</p> <p>経緯：合併前の旧浜北市において、浜北総合体育館を建築した際、現浜北体育館を廃止する方針があり、合併後の再配置個別計画においても、その方針を継承し、耐震性の低さと周辺施設の利活用の観点から平成25年度末をもって廃止を決定した。しかし、区協議会をはじめ、多くの区民から代替施設建設の強い要望が寄せられ、協議検討を重ねた結果、現浜北体育館の廃止を1年間延長し、その場所に新体育館を建設する方針を決定した。</p> <p>現状：前述の方針決定を受け、現浜北体育館は、一旦、平成26年度末をもって廃止すべく、条例の一部改正を行う。なお、今後、新体育館の利用方法や料金等は供用開始までに条例等で定めていく。</p> <p>課題：現浜北体育館の供用廃止から新体育館の供用開始までの利用者の代替施設確保の協力と供用開始及び供用開始後の利用方法等、市民への周知を適切に進めていく。</p>				
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	浜松市浜北体育館を、条例の一部改正により平成27年3月31日をもって廃止する。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<p>答申 平成26年10月</p> <p>今後の予定：市議会に条例改正案提出（平成26年11月） 解体工事 平成27年度（工期：4.5ヶ月） 新築工事 平成27～28年度（工期：12.0ヶ月）</p>				
担当課	浜北区・まちづくり推進課	担当者	生熊 義憲	電話	585-1116

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

第 1 0 号様式

浜 北 区 協 第 号

平成 2 6 年 1 0 月 日

(あて先) 浜松市長

浜北区協議会

会 長 川上 正芳 印

諮問事項に対する答申について

平成 2 6 年 9 月 8 日付け浜市協第 1 3 9 号で当協議会に対して諮問のあったことについて、浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第 1 1 条第 1 項から第 3 項の規定に基づき審議した結果、下記のとおり答申します。

記

- 1 答申内容 別紙第 1 1 号様式のとおり

(案)

第11号様式

諮問事項に対する答申書

浜北区協議会

件名	平成27年度浜北区役所費予算要求の概要について
諮問内容	平成27年度浜北区役所費の予算要求の概要について、区協議会に諮問するもの。
答申	<p>諮問内容について審議の結果、適切であると認めます。なお、本協議会において次のような意見がありましたので申し添えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・浜北区役所のなゆた・浜北への移転にあたって、市民が不便を来たさないよう、来客用駐車場の確保を最優先してほしい。・浜北区役所のなゆた・浜北への移転にあたって、現在のなゆた・浜北の生涯学習施設利用者が不便を来さないよう、代替施設を整備してほしい。
備考	

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	平成 27 年度浜北区役所費予算要求の概要について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)					
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	平成 27 年度浜北区役所費の予算要求の概要について 諮問するもの。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	答申 平成 26 年 10 月				
担当課	浜北区振興課	担当者	野中 敬	電話	5 8 5 - 1 1 4 1

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成27年度 浜北区役所費 予算要求の概要

浜北区役所

(単位：千円)

費用項目	27年度 当初予算要求額 (単位：千円)	26年度 当初予算額 (単位：千円)	事業の内容	27年度当初予算要求の 主な増減内容等
浜北区役所費	<u>529,514</u>	248,743	※職員の人件費等は除く。	
区管理運営事業	82,235	73,353	庁舎、公用車の維持管理等に要する経費	旧大平小学校倉庫化 染地台旧小学校用地草刈り
浜北区役所移転整備事業	282,147		浜北区役所の移転整備に要する経費	来客用駐車場整備 なゆた・浜北改修設計
協働センター管理運営事業	37,016	38,428	浜名、北浜南部、中瀬、亀玉協働センターの維持管理に 要する経費	H26臨時事業があったた め
収入印紙売りさばき事業	10,000	10,000	浜北区役所での登記関係証明用収入印紙の売りさばきに 要する経費	
区協議会運営事業	253	207	区協議会の開催等に要する経費	
行政連絡文書配布事業	32,974	30,965	広報紙等の配布を浜北区自治会連合会に委託する経費等	世帯増加を見込み増額
自治会振興事業	57,081	67,248	自治会集会所整備助成、防犯灯設置維持管理助成	H26自治会集会所整備助成 新築2件。H27は新築がない ため。
地域力向上事業	<u>18,899</u>	19,633		
市民提案による住みよい地域づくり助成事 業（補助金）	3,700	3,700	住みよい地域を実現するため、団体の提案に基づき、団 体が主体的に取り組む事業に対し助成する事業	
区民活動・文化振興事業	<u>11,932</u>	12,683	地域の活性化や文化振興のため、市民協働により実施す る事業	
区課題解決事業	3,267	3,250	区内の課題を解決するため、市民協働により実施する事 業	
遠州はまきた飛竜まつり開催事業	5,000	5,000	遠州はまきた飛竜まつりの警備、会場設営等に対する負 担金	
浜北万葉まつり開催事業	3,909	3,909	万葉まつり及び関連イベントを開催するための経費	

27年度当初予算要求額は平成26年9月25日現在の額であり、変更になる場合があります。

平成27年度 地域力向上事業・区大事業について

浜北区役所
(単位：千円)

事業名	27年度 当初予算要求額 (単位：千円)	26年度 当初予算額 (単位：千円)	事業の内容	27年度当初予算要求の 主な増減内容等
地域力向上事業	18,899	19,633		
市民提案による住みよい地域づくり助成事業（補助金）	3,700	3,700		
区民活動・文化振興事業	11,932	12,683		
浜北区市民文化祭開催事業	1,508	1,508	市民の生涯学習・芸術文化活動成果の発表と鑑賞のため、絵画などの作品展示、舞踊などの舞台発表等を実施する。	
私の浜北発表会	149	118	子ども達の発表会を開催する。（区協議会の提言を事業化）	
ふるさと再発見事業	401	401	浜北区内の歴史的・文化的な資源の掘り起こしのために、文化財等を活用したイベント開催等を行う。	
浜北産業祭開催事業（負担金）	5,000	5,000	地域の商業、工業、農業などの企業・団体等の出展を行う。併せて集客イベントを開催する。	
地域スポーツ振興事業	1,289	1,682		
なわとび検定会	88	144	市民を対象になわとび検定を実施する。	
市民ラジオ体操会	70	164	市民に呼び掛けラジオ体操会を実施する。	
はまきた歩け歩け運動	327	406	浜北北部の岩水寺・浜北森林公園を通るおよそ10kmのコースを歩くスポーツイベントを開催する。	
地域スポーツクラブ交流会	0	82	浜北区内のスポーツクラブの人たちを集め、スポーツ等で交流を図る。	自主事業化

浜北森林公園ロードレース ※26年度は別掲	278	273	健康増進と競技力向上を目指し、浜北森林公園内でロードレースを実施する。	
はまきたスポーツ交流会	526	562	浜北区内のスポーツ少年団の子どもたちを集め、スポーツ等で交流を図る。	
その他運動用具購入	0	51	運動用具購入	
浜北青少年健全育成事業	1,184	1,184		
エルネットファミリー	482	483	小学生を対象に、科学的学習、風習や伝統的な行事の体験、工場見学など、偏りのない幅広い体験学習を実施する。	
青少年活動推進	342	342	青少年指導者養成講座の実施、広報誌「青少年の窓」の発行、他の青少年活動への支援・協力を行う。	
小中学生体験学習	158	158	1泊2日キャンプの開催とクリスマスに合わせた作品の製作を行う。	
小学校地域ホームステイ	105	104	区内小学生を対象に、区内の一般家庭へのホームステイを行う。	
星を見るつどい	97	97	星座の紹介、星空ミニコンサート、望遠鏡の使い方などの学習を行う。	
みどりのまち推進事業	2,401	2,790		
浜北植木まつり支援事業（負担金）	545	545	植木、園芸関係資材及び農畜産物の展示・即売会や催し物を開催する。	
はまきたグリーンフェスタ開催事業	1,200	1,200	植木や花苗オークション、押し花教室、木工教室、コンサート、緑の募金、子供縁日などを開催する。	
入学記念樹贈呈事業	206	206	浜北区内の小学校及び特別支援学校入学児童へ入学記念樹を贈呈し、みどりのまち浜北を啓発する。	
みどりを守り育てる運動	450	741	町内会等が実施する公園や遊園地などの緑地管理（除草、施肥等）に対する報償金（15円/㎡以内）を交付する。	一部を公園課に移管

	アダプトプログラム	0	98	公園の美化活動に取り組んでいるアダプトプログラム（養子縁組制度）の活動の支援として消耗品等を配布し、また保険料の支払い等を行う。	公園愛護会へ移行
	区課題解決事業	3,267	3,250		
	健康づくり事業	267	250	健康意識の啓発を図るため、市のイベント会場（浜北区内）で健康づくりの普及啓発事業を実施する。	
	浜北駅前活性化事業	3,000	3,000		
	飛竜まつり駅前イベント	1,780	1,780	遠州はまきた飛竜まつり開催に合わせ、なゆた・浜北駅前広場で飛竜太鼓の演奏やよさこい踊り、ミニ凧の展示などを行う。	
	浜北駅前にぎわい創出イベント	1,220	1,220	なゆた・浜北駅前広場で地域活性化のイベントを開催する。	
	遠州はまきた飛竜まつり開催事業（負担金）	5,000	5,000	浜北凧揚げ、飛竜火まつり等各種イベントを開催する。	
	浜北万葉まつり開催事業	3,909	3,909	「こどもまんようまつり」「万葉まつり」「万葉コンサート」「椿まつり」を開催する。	

※27年度当初予算要求額は平成26年9月25日現在の額であり、変更になる場合があります。

地域力向上事業 市民提案による住みよい地域づくり助成事業の 二次募集の開始について

1 経緯

地域力向上事業は、平成 22 年度に創設された事業。市民協働の理念のもと、地域課題の解決により地域力を向上し、住みよい地域社会を実現するため、市民提案やアイデア等を基に実施する事業で、この事業は、「助成事業」と「区企画事業」で構成されスタートした。

助成事業については、平成 26 年 9 月末現在で採用件数が 5 件、執行見込額が 79 万円（執行残 291 万円）と例年に比べ低調である。理由としては、制度上、同じ事業への補助金の交付は 3 回までとなっていること、補助率の上限が 50% であり、2 分の 1 は自己資金を用意しなければならないことなどが影響している。

※「区企画事業」については、別の「区まちづくり事業」と統合・再編され「区民活動・文化振興事業」と「区課題解決事業」になった。

2 内容

助成事業の二次募集を開始する。

期間は平成 26 年 10 月 1 日(水)から平成 27 年 1 月 30 日(金)まで

3 参考資料

(1) 浜北区の過去 5 年間の推移

年度	予算額	件数	決算額	執行率(%)
平成 22 年度	4,000 千円	14 件	3,061 千円	76.5
平成 23 年度	4,300 千円	13 件	2,885 千円	67.1
平成 24 年度	8,100 千円	11 件	3,554 千円	43.9
平成 25 年度	3,700 千円	8 件	2,948 千円	79.7
平成 26 年度 ※26 年 9 月末現在	3,700 千円	5 件	790 千円	21.4

(2) 各区の平成 25 年度決算の比較

区名	H25 予算額	件数	H25 決算額	執行率(%)
中区	4,400 千円	8 件	4,400 千円	100.0
東区	3,800 千円	6 件	3,415 千円	89.9
西区	4,000 千円	4 件	1,450 千円	36.6
南区	3,700 千円	9 件	2,612 千円	70.6
北区	4,400 千円	10 件	3,689 千円	83.8
浜北区	3,700 千円	8 件	2,948 千円	79.7
天竜区	6,000 千円	12 件	4,378 千円	73.0

地域力向上事業 市民提案による住みよい地域づくり助成事業の概要

1 対象となる事業

- (1) 公益性がある事業であること。
- (2) 区の特徴を活かした事業や課題を解決する事業であること。

2 補助対象経費

対象経費	留意点
報償費	外部講師に対する謝礼で、事業規模等に応じ、適正かつ妥当な額とする。
賃金	特定の技量を要する行為又は特別に役務の提供が必要と認められる場合に、事業規模等に応じ、適正かつ妥当な人数・時間の範囲内で実施する経費を対象とする。金額は一人あたり時給 775 円、日給 6,200 円を標準とする。
旅費	外部講師の交通費の実費弁償とする。
需用費	消耗品・燃料費・電気料・ガス代・印刷製本費・修繕費
役務費	電話料・郵便料・保険料
委託料	事業全てを委託する場合は補助対象外とする。
使用料及び賃貸料	会場・資機材等の使用・借上げに要する経費
原材料費	特定の個人・団体のみが利益を受ける資産形成につながるものを除く。
※すべて直接事業実施にかかる経費とする。	
※領収書を徴することができないもの（交通費等実費弁償分は除く）は補助対象外経費とする。	
※報償費及び賃金については、真に事業実施に必要な経費を対象とし、補助対象経費の 50%を超えないものとする。	

3 補助率・補助限度額

- (1) 補助対象経費の2分の1以下で、200万円を限度。
- (2) 同じ事業が2回目に採択された場合は40%以内、3回目に採択された場合は25%以内と補助率は逡減する。ただし、市長が必要と認めたときは、50%まで引き上げることができる。
- (3) 4回目は対象としない。

《よくある質問》

Q 1 ○○会の活動を補助してほしい。

A 1 本事業の趣旨は、地域課題を解決し、住みよい地域づくりを目的とする事業に対して助成することであるため、団体の運営に対する経費は補助対象外です。

Q 2 ○○会の発表会を浜北文化センターで開催したい。補助対象になるか？

A 2 その事業が、地域課題を解決し、住みよい地域づくりにつながる事業であるかどうか採択基準になるので、単なる団体の発表会では対象となるとは言えません。

Q 3 講演会の講師謝礼は補助対象になるか？

A 3 講師謝礼は補助対象となりますが、補助対象経費（全額）の50%を超える部分は対象外です。

Q 4 イベント運営のボランティアの弁当代は補助対象になるか？

A 4 食料費は補助対象となりません。

Q 5 行政内で他に同じ趣旨の補助金がある場合、この補助金は申請できるか？

A 5 公的補助金の重複した申請はできません。

平成22年度 地域力向上事業 区別実施事業一覧（浜北区）

【平成23年3月31日】

■事業提案

区分	提案・発案件数	実施件数	市執行額
助成事業	14件	14件	3,061千円

■実施事業

(単位：千円)

事業名	提案者・発案者	事業内容	事業区分	総事業費	市執行額
1 岩水寺さくらの里まつり	赤佐発展会	岩水寺さくらの里での荘川桜の植樹と地元コミュニティ団体による、まちおこしイベントの開催 4月10日（岩水寺さくらの里）	助成事業	1,175	541
2 健康・文化交流事業	浜北みどりの会	区内の公民館で活動している高齢者を中心とした健康体操・合唱・舞踊、詩吟などの合同発表会の開催 3月10日（なゆたホール）	助成事業	203	100
3 浜北地区子どもドッジボール大会（地区予選、決勝大会）事業	浜松市子ども会連合会浜北支部	浜北区内全小学校が参加するドッジボール大会の開催 予選大会：5月～7月 決勝大会：11月13日（浜北総合体育館）	助成事業	801	400
4 親子キラ体験隊	Harmony	保育士・ナー養成講座の開催と地域の子どもの対象とした農業体験、料理教室の開催	助成事業	677	338
5 ストップ！温暖化くらしのアイデアフェアin浜北	消費者グループ連絡会浜北	省資源、省エネルギー、ごみ減量、エコライフの実践について考え、体験できるイベントの開催 11月28日（なゆた・浜北市民プラザ）	助成事業	123	60
6 FCFハーモニカコンサート	FCF古橋クロマチックファミリー	クロマチックハーモニカのコンサート開催 9月11日（なゆたホール）	助成事業	402	200
7 夏休み将棋教室	日本将棋連盟浜北支部	小学生を対象としたプロ棋士を招いての将棋教室の開催 8月8日（浜北文化センター大会議室）	助成事業	181	90
8 「飛竜物語」の絵本作成	浜北商工会青年部	飛竜まつりのルーツである飛竜に関する絵本作成 作成数：180冊	助成事業	546	272
9 知的障がい者ふれあい交流会	浜北手をつなぐ育成会	「知的障がい者の消費者トラブル未然防止と啓発」をテーマとした講演会 2月13日（なゆたホール）	助成事業	214	100
10 はまきた美術作品展開催事業	浜北文化協会	一般公募した美術作品（絵画、書、工芸、写真等）の展示会開催 3月12日～13日（なゆた浜北市民ギャラリー）	助成事業	178	88
11 なゆた冬の音楽会	浜北西高吹奏楽部	なゆたホールとなゆた・浜北駅前広場での浜北西高などによるコンサート 12月26日（なゆたホール・駅前広場）	助成事業	226	112
12 浜北音楽の里体験練習会	浜北音楽の里実行委員会	著名音楽家の指導による区内の高校生等を対象とした演奏練習会と成果発表演奏会の開催 1月29日（森の家 やまびこホール）	助成事業	402	200
13 バイクの集いin浜北	バイクの集いin浜北実行委員会	オートバイの愛好家などを対象としたイベント（バイクの展示、トークショーなど）の開催 10月10日（グリーンパーク浜北）	助成事業	906	450
14 万葉の宵を楽しむ会	月草の会	万葉の森公園において夜間に寸劇の実演とフルート演奏並びに万葉食の提供 11月6日（万葉の森公園）	助成事業	221	110

平成23年度 地域力向上事業 区別実施事業一覧（浜北区）

【平成24年3月31日現在】

■事業提案

区分	提案・発案件数	実施件数	市執行額
助成事業	13件	13件	2,885千円

■実施事業

(単位：千円)

事業名	提案者・発案者	事業内容	事業区分	総事業費	市執行額
1 新規事業 スマイル学園 浜北 'S	(株)浜北青年会議所	区内の小学生を対象に「感謝の心と団結力から夢を見つける」をテーマに4回の授業(講座)を開催する。 5月29日～9月25日(森林公園、グリーンアリーナ、なゆた・浜北ほか)	助成事業	223	110
2 FCFハーモニカコンサート (2年目)	FCF古橋コマチックファミリー	コマチックハーモニカのコンサートを開催する。 10月8日(なゆたホール)	助成事業	400	160
3 健康・文化交流事業 (2年目)	浜北みどりの会	区内の公民館で活動している高齢者を中心とした健康体操・合唱・舞踊・詩吟などの合同発表会を開催する。 3月8日(なゆたホール)	助成事業	200	80
4 浜北地区子ども ドッジボール大会 (地区予選、決勝 大会)事業(2年 目)	浜松市子ども会連 合会浜北支部	浜北区内全小学校が参加するドッジボール大会を開催する。予選5月～7月 決勝大会11月3日(浜北総合体育館)	助成事業	800	320
5 夏休み将棋教室 (2年目)	日本将棋連盟浜北 支部	小中高生等を対象としたプロ棋士を招いての将棋教室を開催する。 8月14日(浜北文化センター)	助成事業	180	72
6 新規事業 宮口地域の宝物再 発見	宮口まちおこしの 会	地域の歴史文化に関するガイドブックの作成とガイドブックを活用したウォーキングなどのまちおこしイベントを開催する。	助成事業	800	400
7 新規事業 日本と浜松を創っ た人物の肖像画展	全日本肖像美術協 会	浜松ゆかりの人物や国内で活躍した人物の肖像画80枚を展示する。 11月12日～20日(なゆた浜北 市民ギャラリー)	助成事業	1,144	572
8 省エネ・節電!く らしのアイデアフェア in 浜北(2年目)	消費者グループ連絡 会浜北	省エネルギー展示実演、体験コーナー、不用品交換市などの環境をテーマとしたイベントを開催する。 11月20日(なゆた浜北 市民プラザ)	助成事業	120	48
9 新規事業 浜北ユースバンド演奏 会	浜北ユースバンド	演奏技術の向上を目指して活動する区内の小、中、高校生を対象とした演奏会を開催する。 11月5日(浜北文化センター大ホール)	助成事業	202	100
10 新規事業 納涼まちかどコンサ ート	小松商店連盟	小松地区で女性JAZZバンドや地元中学生吹奏楽部の演奏と商店連盟を中心とした地域おこしイベントを開催する。 7月30日～31日	助成事業	1,079	525
11 新規事業 こども音楽フェスティ バルin浜北	浜松市文化振興財 団	小学校低学年から中学生を対象とした「子ども音楽祭り」の参加者と浜北区の合唱団、市内高校吹奏楽団との合同音楽会を開催する。 12月11日(浜北文化センター大ホール)	助成事業	1,300	200
12 浜北音楽の里体験 練習会(2年目)	浜北音楽の里実行 委員会	カルピトラー氏の指導による演奏練習会と成果発表演奏会を開催する。 11月26日(サライフ浜北)	助成事業	506	200
13 なゆた冬のコンサ ート (2年目)	浜北西高吹奏楽部	浜北西高吹奏楽部を中心とした演奏団体がなゆたホールとなゆた浜北駅前広場でコンサートを開催する。 12月25日(なゆたホールほか)	助成事業	245	98

平成24年度 地域力向上事業 区別実施事業一覧（浜北区）

【平成25年3月31日現在】

■事業提案

区分	提案件数	実施件数	市執行額
助成事業	11件	11件	3,554千円

■実施事業

事業名	提案者・発案者	事業内容	事業区分	総事業費	市執行予定額
1 スマイル学園 浜北'S (2年目)	(社)浜北青年会議所	区内の小学生を対象に「自利、利他の精神」と「夢・希望に向かって力強く生きる」を伝えることを目的とした宿泊研修などの開催 7月8日（なゆた・浜北大会議室）、 7月28～29日（はるの川音の郷）	助成事業	945	378
2 岩水寺さくらの里まつり(2年目)	赤佐発展会	岩水寺さくらの里での地元コミュニティ団体による、まちおこしイベントの開催 4月7日（岩水寺さくらの里）	助成事業	1,405	558
3 新規事業 はまきた音楽祭	浜北活性化倶楽部	なゆた浜北駅前広場でのアマチュア音楽家による演奏イベント 5月13日（なゆた・浜北駅前広場）	助成事業	1,100	450
4 バイクの集いin浜北2012(2年目)	バイクの集いin浜北実行委員会	バイクの愛好家などを対象としたイベント（バイクの展示、トークショーなど）の開催 10月7日（プレ葉ウォーク・浜北）	助成事業	800	320
5 健康・文化交流事業(3年目)	浜北みどりの会	高齢者を対象に健康体操・合唱・歌謡などを通し健康増進と相互の親睦と交流を図る。2月28日（なゆたホール）	助成事業	207	80
6 浜北地区子どもドッジボール大会（地区予選、決勝大会）事業（3年目）	浜松市子ども会連合会浜北支部	浜北区内全小学校が参加するドッジボール大会の開催 予選5月22日～7月3日 決勝11月3日（浜北総合体育館）	助成事業	800	320
7 新規事業 夜回り先生講演会「いのちの授業」	(社)浜北青年会議所	命の大切さと思いやりの心を伝え、地域で子供たちを健やかに育てることをテーマとした講演会の開催 12月11日（浜北文化センター）	助成事業	1,126	540
8 省エネ・節電！くらしのアイデアin浜北(3年目)	消費者グループ連絡会浜北	省資源・省エネルギー、新エネルギーのパネル展示、体験コーナー、不用品交換市など 11月25日（なゆた・浜北市民プラザ）	助成事業	120	48
9 新規事業 浜北区観光文化PR事業	NPO法人 三遠南信アミ	スマートフォンのアプリを活用した浜北区の地場産品情報の提供 11月～3月	助成事業	989	360
10 浜北音楽の里体験練習会の実施(3年目)	浜北音楽の里実行委員会	区内高校生等を対象とした著名音楽家の指導による演奏練習会と成果発表演奏会の開催 2月2日（森の家）	助成事業	503	200
11 新規事業 森林公園スタンプラリー	ふれあい浜北	小学生を対象に森林公園及び周辺施設を利用したスタンプラリーを実施 3月1日～31日（森林公園及び周辺施設）	助成事業	600	300

平成25年度 地域力向上事業 区別実施事業一覧（浜北区）

【平成26年3月31日現在】

■事業提案

区分	提案件数	実施件数	市執行額
助成事業	8件	8件	2,948千円

■実施事業

事業名	提案者・発案者	事業内容	事業区分	総事業費 (決算額)	市執行額 (決算額)
1 岩水寺さくらの里まつり(3年目)	赤佐発展会	岩水寺さくらの里での地元コミュニティ団体による、まちおこしイベントの開催 3月30日中止(岩水寺さくらの里)	助成事業	1,130	21
2 はまきた音楽祭(3年目)	浜北活性化倶楽部	なゆた・浜北なゆたホールでのアマチュア音楽家による演奏イベントの開催 5月19日(なゆたホール)	助成事業	1,423	500
3 スマイル学園はまきっず3rdシーズン(3年目)	(公社)浜北青年会議所	親子のつながりを強化し、力強く生きることが出来ることを目的とした区内の小学生対象の宿泊研修などの開催 7月27日～28日、8月10日(方広寺、はましんレクリエーションセンター)	助成事業	1,163	465
4 新規事業 第3回 浜松お笑いフェスタ「出世城」	浜松お笑いフェスタ実行委員会	浜北文化センターでの浜松出身のアマチュア芸人によるお笑いライブなどの開催 10月19日、20日(浜北文化センター小ホール、大会議室)	助成事業	1,085	500
5 新規事業 ダンスワークショップ in 浜北	ポーターズ市民交流友の会	言葉や文化の壁を越えた国際交流の体験を目的とした区内の子どもが対象のダンスワークショップの開催 10月29日(なゆたホール)	助成事業	245	122
6 バイクの集い in 浜北2013(3年目)	バイクの集い in 浜北実行委員会	オートバイの愛好家などを対象としたイベント(バイクの展示、区内ツーリングなど)の開催 10月13日(プレ葉ウォーク・浜北)	助成事業	808	320
7 新規事業 「路傍の神仏と道標」誌の発行事業	浜北郷土史部	平成19年から浜北区市民文化祭で展示発表してきた「路傍の神仏と道標」の写真、解説をまとめ、冊子として700部発行する。(700部発行)	助成事業	1,040	520
8 新規事業 見る！聴く！体験する！親子でなゆた浜北へby 川の森プロジェクト	川の森プロジェクト	子どもたちに、「音楽を聴く、アニメを描く、自転車に乗れるようになるなどの創造力を引き出し、伸ばすきっかけ」をまとめて提供し、親子、祖父母とのふれあいの機会としてもらい、なゆた浜北のにぎわいづくりを目指す。 12月28日(なゆたホールほか)	助成事業	1,041	500

平成26年度 地域力向上事業 区別実施事業一覧（浜北区）

【平成26年9月30日現在】

■事業提案

区分	提案件数	実施件数	市執行額
助成事業	5件	5件	790千円

■実施事業

事業名	提案者・発案者	事業内容	事業区分	総事業費 (決算額)	市執行額 (決算額)
1 第4回 浜松お笑いフェスタ「出世城」(2年目)	浜松お笑いフェスタ実行委員会	浜北文化センターでの浜松出身のアマチュア芸人によるお笑いライブなどの開催 11月29日（浜北文化センター）	助成事業	900	360
2 新規事業 「絵画に親しむ実演会」と「みどりの街角絵画展」	みどりの街角絵画展実行委員会	なゆた・浜北1階アトリエでの絵画の実演会と、2階市民ギャラリーでの絵画展の開催 6月25日～6月29日（なゆた・浜北アトリエ及びギャラリー）	助成事業	208	104
3 新規事業 小学生の仲間づくり事業	(公社)浜北青年会議所	子ども達の仲間意識と団結力を養うことを目的とした、自然の中でのレクリエーション大会の開催 7月6日（浜北森林公園）	助成事業	201	100
4 新規事業 浜北JC杯チャイルドサッカー大会	(公社)浜北青年会議所	幼児の体力づくり及び各園の交流を目的とした、浜北区内年長園児（幼稚園・保育園）と保護者を対象としたチャイルドサッカー大会の開催 11月9日（平口サッカー場）	助成事業	121	60
5 浜北の自然・歴史を満喫 森林公園スタンプラリー(2年目)	ふれあい浜北	県立森林公園及び周辺施設を利用したスタンプラリーの実施 9月13日～12月14日（森林公園及び周辺施設）	助成事業	417	166

平成25年度中区地域力向上事業

助成事業

事業一覧

No.	事業名	提案者 (実施者)	事業費 市執行額 (円)	事業内容	事後 評価
	たかおかフェスティ	たかおかフ		<p>高丘地区のメインストリート(たかおか中央通り)で、高校生や小中学生のブラスバンドなどによるパレードを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内容: 地元小・中学校の金管バンドやブラスバンド、気賀高マーチングバ 	
1	バル 開催事業	エステイバル 実行委員会	951,000 (319,000)	<p>ンドの演奏、よさこい踊り、九重太鼓、大道芸ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時: 5月4日(土曜日) ■ 会場: 高丘東四丁目交差点から高丘西二丁目交差点まで ■ 出演: 約1,870人、観客: 約1,500人、関係者: 約100人 	詳細
2	はままつ芸術祭 2013	はままつ芸術祭 実行委員会	3,580,000 (965,000)	<p>まちなかの活性化を目指し、「秋の芸術祭」を開催。ダンスや音楽、大道芸などのパフォーマンスを演じるステージや賑わいを創出する飲食ブースなどを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時: 10月5日(土曜日)・6日(日曜日) ■ 内容: 岩手県大船渡市より秋刀魚塩焼き販売、約60団体の出演者によるパフォーマンス、ハロウィンパレード(鍛冶町大通りでの仮装パレード)、ハロウィン仮装コンテスト ■ 会場: 鍛冶町通り、ザザシティ中央館 ■ 来場: 約125,000人(2日計) 	詳細

3	MIXSTAGE2013	MIXTA実行委員会	1,149,000 (561,000)	<p>1.小中学生を対象としたダンス指導(ワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 期間:7月1日(月曜日)~8月23日(金曜日) ■ 会場:ハルソニックスタジオ ■ 参加者:小中学生62人(小中学校40校で募集) <p>2.市民参加型イベント「MIXSTAGE2013 ~夏の陣～」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時:8月25日(日曜日) ■ 会場:ソラモ ■ 参加:市内を中心に活動するダンス愛好家250人、ワークショップ参加者62人の計312人 ■ 来場:1,500人 	詳細
4	第8回高校生吹奏楽フェスティバルinソラモ	高校生吹奏楽フェスティバルinソラモ実行委員会	850,407 (400,000)	<p>県西部の高校9校による吹奏楽の演奏会の開催。フェスティバルの運営に高校生が参加、学校間の情報交流の場となった。後日、K-MIXの番組で演奏を約3か月にわたり放送し、浜松のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時:6月16日(日曜日) ■ 会場:ソラモ 	詳細
				<ul style="list-style-type: none"> ■ 出演:9校(330人) ■ 来場:約3,000人 	
5	浜松餃子まつり2013	浜松餃子学会	4,776,390 (906,000)	<p>浜松市内や全国の餃子店が一堂に会し餃子市を開催。餃子のほか、B級グルメなども出展したほか、餃子BANDライブや幼稚園児創作ダンス、オラが餃子コンテストなどのステージイベントも開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時:10月12日(土曜日)・13日(日曜日) ■ 会場:アクト通り及び東ふれあい公園 ■ 来場:約80,000人 	詳細
6	YUKATAフェスタはままつ	NPO法人 全国元気まちづくり機構・浜松	1,228,000 (209,000)	<p>「浜松ゆかた」をテーマにした、まちなか縁日を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内容:ワールドゆかたおしゃれコンテスト、ステージパフォーマンス、ゆかた関連繊維製品の販売、縁日広場など ■ 日時:7月6日(土曜日)・7日(日曜日) ■ 会場:ソラモ ■ 来場:約4,500人 	詳細

7	浜松城徳川家康物語普及事業	劇団砂喰社	1,383,000 (480,000)	1.徳川家康の勉強会を開催(6~11月計6回) 2.浜松城徳川家康物語の公演 (1)6月9日(日曜日) ■ 会場:ソラモ ■ 来場:約500人 (2)11月23日(土曜日) ■ 会場:椿観音 ■ 来場:約250人	詳細
8	くすりと健康フェスタ『ひとつの命を大切に2013』	(一社)浜松市薬剤師会	1,541,000 (560,000)	一般市民を対象とした薬物乱用防止や健康を啓発するイベントの実施 ■ 内容:薬と健康相談コーナーの開設、お薬手帳の啓発、飲料水(井戸水)の検査など ■ 日時:10月6日(日曜日) ■ 会場:ソラモ ■ 来場:5,003人	詳細

平成25年度東区地域力向上事業採用・実施事業一覧

助成事業の採用事業一覧(平成25年12月20日現在)

No.	事業名	提案者	内容	総事業費(千円)	市執行予定額(千円)
1	十湖翁ゆかりの自然と文化を楽習しよう	東区の自然と文化を残そう会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 十湖池探検会、収穫祭の開催 ■ 里池(十湖池)、里地(遊休農地)でのさまざまな体験 ■ 十湖池周辺の環境美化活動 ■ 松島十湖翁ゆかりの里ウォーキング 	200	100
2	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	地域の食の自給率を上げる会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 遊休農地でそばを作り、収穫後、そば打ち体験を行う。 	498	249
3	有玉伝統文化継承事業(流鏝馬・獅子舞)	有玉伝統文化継承事業流鏝馬実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流鏝馬行事と獅子舞等、有玉の伝統文化を実施(10月13日)。 	367	183
4	中野町煙火大会2013	中野町煙火大会実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 輪投げ大会(8月2日) ■ グラウンドゴルフ大会(8月5日) ■ 東区区長杯争奪少年少女サッカーフェスティバル(8月10・11日) ■ よさこい踊り(8月14日) ■ 打ち上げ花火(8月14日) 	13,615	2,000
	大船渡市から学ぶ	大船渡応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災講座 ■ 大船渡市の被災・復興写真の展示 		
5	地域防災と大船渡応援イベントの開催	援イベント委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大船渡市復興支援(大船渡さんまの炭火焼き等の無料配布等)(10月13日) 	1,211	605
6	『世界一、日本一ってすごい!浜松わくわく探検隊!』~ぽっぷハートつながり隊2013~	一般社団法人ぽっぷちやいんど	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東区で地域の世界一、日本一の企業を訪問し、次世代を担う子どもたちに「ものづくりのまち浜松」の技術を体験してもらい、地域を知り好きになってもらう(7月29日)。 	791	395

平成25年度西区地域力向上事業の事後評価を行いました。

助成事業 / 区民活動・文化振興事業 / 区課題解決事業

助成事業

事業概要

NO.	事業名	提案者	事業費 (市執行額)	事業内容
1	入野路地裏探検隊	入野まちづくり研究会	996,794円 (498,000円)	<p>実施時期 平成25年7月20日～平成26年3月31日</p> <p>実施場所 入野地区</p> <p>事業内容 歴史的建造物等の実測調査とヒアリング調査及びその結果の発表、地域住民対象の「蔵めぐりクイズMAP」の開催、文化的資源活用のまちづくり／シンポジウム・意見交換会の開催、入野の文化的資源紹介の展示会開催</p> <p>事業実績 ◆蔵めぐりイベント:66組が参加(8月～9月) ◆路地裏探検ツアー:各日約20人が参加(12月7・8日) ◆入野いどばた会議(講演、シンポジウム):約20人が参加(12月8日) ◆街並資料展示会:延べ約100人が来場(12月7日・8日) など</p>
				<p>実施時期 平成25年9月中旬～平成26年2月下旬</p> <p>実施場所 西区8地区</p>
2	地域と人・歴史の縁結び冊子作成	みらいネット浜松	1,043,834円 (417,000円)	<p>事業内容 昨年度発行した西区内8地区のマップ(地域と人・歴史の縁結び)を基にして調査研究し、事柄を詳細に記載した冊子(オールカラー、80～90ページ、A5版、表紙ビニール掛け)を1,000部作成。1,000部作成の内、300部を学校・協働センター・関係者などに無料配布。</p> <p>事業実績 西区内を8地区に分け、歴史的建造物や伝統文化を紹介する冊子(A5版オールカラー、88ページ)を1,000部作成し、そのうち約300部を西区内の小中学校や協働センターなどへ無料配布した。残りの約700部については、希望者に1部500円で販売中。</p>

<p>3</p>	<p>浜松・浜名湖アートフォトコンテスト 2013～西区新発見！～</p>	<p>特定非営利活動法人浜名湖クラブ</p>	<p>696,747円 (335,000円)</p>	<p>実施時期 平成25年9月2日～平成26年3月20日</p> <p>実施場所 審査会場：浜名湖頭脳センター(1月23日) 展示会場：浜松市市民協働センター、浜名湖国際頭脳センター、浜松市立雄踏図書館、浜松信用金庫入野支店(2月2日～3月17日)</p> <p>事業内容 アートフォトコンテストとし、単なる風景写真やスナップ写真にとどまらない、写真表現の可能性、芸術性の高い作品、撮影者の個性や感性を感じる作品を地域の幅広い層の方々から応募してもらい、今までにない地域資源の新たな表情を発見していく。幅広い層の方々から応募してもらうために、携帯電話・スマートフォンで撮影したデータでの応募も可とし、審査会では、デジタル部門を設定する。表彰式の開催、浜名湖クラブHPでの結果発表、各地での巡回による展示会を通じ、さらに多くの方々へ地域資源を周知していく。</p> <p>事業実績 ◆募集期間：平成25年9月2日～平成26年1月5日 ◆応募数：398点(109名) ◆表彰式：2月2日(浜松市市民協働センター)</p>
<p>4</p>	<p>第2回花川コンサート</p>	<p>和地地区コミュニティ</p>	<p>406,081円 (200,000円)</p>	<p>実施時期 平成25年10月14日</p> <p>実施場所 和地協働センター付設体育館</p> <p>事業内容 和地地区の幼稚園、小・中学生、その他の団体による地元出身の古橋迪夫さん(童謡唱歌作曲家)の曲を合唱、演奏</p> <p>事業実績</p>
		<p>イ協議会</p>		<p>古橋迪夫さんが選んだ18曲を、地元の幼稚園児や小中学生、歌唱サークルのメンバーらが歌った。同区のオイスカ高校留学生は世界の童謡を歌って紹介。地元湖東中吹奏楽部は童謡メドレーを演奏した。フィナーレでは計約80人の出演者全員で古橋さんが作曲した合唱曲「花いっぱい」を披露した。</p>

平成25年度事後評価結果

平成25年度に実施した事業について、南区行政推進会議及び南区協議会による事後評価を行いました。

助成事業

1.事業一覧

事業名(提案者)	事業内容	総事業費 (交付額) 単位:円	評価 結果
1 「水辺の楽校」PR事業 (NPO法人 水辺の里 まちづくりの会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童・生徒が自然観察等に参加し、その都度ごみ拾いを実施 ■ イベント実施前の清掃活動を実施 ■ 「水辺の楽校」をPRするため、パネル、印刷物を各協働センター等に展示 ■ 利用者数約2,000人(延べ) 	121,528 (60,000)	結果
2 循環型農業で遊休農 地活用・地元産作物の 栽培加工開発 (NPO法人 水辺の里 まちづくりの会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソバ打ち体験の実施 ■ ヤーコンの試行栽培 ■ ヤーコンについては、試験栽培により南区において栽培可能であると確認した。 	442,841 (177,000)	結果
3 白脇地区・たんぼアー ト事業 (白脇ふれあいアー トの会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ アンパンマンのたんぼアート制作 ■ れんげ街道形成に向けた周知・準備活動 ■ 園児や地域住民等を対象にした農業体験 ■ 収穫祭や餅つき大会等による地域の人との交流 	1,002,500 (401,000)	結果
4 明るい未来のための 環境講座 (ふらすi)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境カウンセラーやNGO活動家を講師とした環境に関する講座を計3回実施 1. 環境ホルモンによる作用について 2. 食品添加物や化学物質について 3. 新エネルギーやエコライフについて 	318,702 (159,000)	結果
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加人数95人(延べ) ■ 受講者1人あたりに対する費用3,355円(内、自己負担額500円) 		

5	<p>町民による防災まちづくり事業 (白羽町防災まちづくり隊)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各避難訓練の実施 1. 避難訓練(夜間を含む)約900人 2. 防災講座120人 3. 出前講座図上訓練50世帯50人 4. 起震車体験120人 5. 東北被災者体験交流会120人 6. 防災まちづくり町民ふれあい文化祭400人 ■ 静岡県自治会連合会西部支部研修辞令発表(平成25年11月18日磐田市) ■ 「防災に関する住民アンケート調査」の実施 	<p>498,661 (248,000)</p>	<p>結果</p>
6	<p>次世代の安心・安全地域を担う人材育成講座 (NPO法人 魅惑的倶楽部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学生31人、高校生5名が気仙沼市に2泊3日で復興支援活動に参加した。 ■ 中学生は民泊を行い、被災者から体験談を聞く等の貴重な体験をした。 ■ 高校生は震災直後の避難所と同じ環境の施設(ドームテント)に宿泊し被災体験を行った。 ■ 平成26年1月24日、可美公園総合センターにおいて、報告会を実施(中高生23人、傍聴者61人、その他26人、計110人) ■ 報告会と併せ、地震被害予測の講演会、写真展示、物産展を開催した。 	<p>1,239,331 (600,000)</p>	<p>結果</p>
7	<p>下飯田フラワーロード事業 (下飯田町フラワーロードの会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員及び地域住民等による安間川堤防斜面への花木の植栽及び管理 	<p>60,500 (15,000)</p>	<p>結果</p>
8	<p>がんばるママ・パパ応援事業 (NPO法人 ころころねと浜松)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 可美公園総合センター、南陽協働センターにおいて子育て支援講座開催(各4回) ■ 南陽:15組、大人55名、子ども29名参加(延べ) ■ 可美:16組、大人59名、子ども28名参加(延べ) ■ 受講者1人あたりに対する費用8,500円(内、自己負担額1,200円) 	<p>263,481 (131,000)</p>	<p>結果</p>
9	<p>南区名所旧跡普及事業 (TIME WALK)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現地に行くことで、携帯端末から名所、旧跡、その他の施設の説明を見ることができるスマートフォン用アプリを作成(6月11日時点でのダウンロード数26件) ■ 名所・旧跡をまとめた冊子を10,000部製作 	<p>2,525,406 (821,000)</p>	<p>結果</p>

平成25年度 地域力向上事業 市民提案による住みよい地域づくり助成事業 事業評価一覧

件数	総事業費	市執行額	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費 (補助金額)	事後評価
10件	8,227,688	3,689,000					
1	市民協働プロジェクト「みをつくし劇団」	世代を問わず、キャストやスタッフを公募し、稽古や準備を行い、公演する。北区内の歴史や文化をモチーフにした内容とする。	1 地域の歴史・文化の発信。 2 身近な演劇の鑑賞機会の提供。 3 制作に携わった市民の絆づくり。	1 4名(北区を中心に、子どもからお年寄りまで幅広い年代が参加。) 6月から2月まで、週1・2回の稽古を実施。 公演日：平成26年2月23日(日) 昼の部 午後1時～2時30分 夜の部 午後6時～7時30分 会場：みをつくし文化センターホール 当日スタッフ人員：25名 観客動員人数：夜公演 400人	1,452,000 (560,000)	地域の歴史を題材にしたオリジナル作品を手掛け、700人の観客を動員したことは、地域文化の発信や市民に演劇を身近に鑑賞する機会を提供することに寄与したものと認められる。また、劇団員を募集し、年間を通じて演劇に取り組んだことは、北区の文化芸術活動の発展に大きく貢献した。 今後は、自主財源や安定した劇団員の確保等の課題解決策を構築するなかで、事業の継続を期待する。	
2	「三方原八景」都田八景をノルディックウォーク	1 三方原・都田八景をノルディックウォーク 2 三方原・都田八景めぐりと調査研究紙の発行 3 小学生を対象とした三方原・都田八景めぐり 4 調査研究紙の発行 5 小学生による鑑賞栽培 6 防風林クリーン作戦	1 「三方原八景」と「都田八景」の地域資源としての認知度の向上 2 次世代を担う子どもたちが地域の魅力や四季を体感することによる地域への誇りや郷土愛の醸成	1 三方原・都田八景をノルディックウォーク ・3回計画、2回実施、参加者延べ41名(1回は雨天中止) 2 三方原・都田八景めぐりと調査研究紙の発行 ①小学生を対象とした三方原・都田八景めぐり ②調査研究紙の発行 ・常葉大学との連携により、冊子2,000部を作成・配布(現地研修1回、制作打合せ2回) 3 小学4年生による鑑賞栽培 ・参加4校、延べ370人 防風林クリーン作戦 4 防風林クリーン作戦	996,455 (398,000)	地域内の幅広い年代が事業に参加したこと、地域の年代を越えた連携体制が構築され、若年層の地域愛の醸成にもつながったものと認められる。また、三方原・都田八景を利用したノルディックウォークの取り組みにより、理もれた地域の資源や新たな地域資源の活用により、地域内外への認知度向上にも大きく貢献した。今後も、地域住民と関係団体と大きく良好な連携体制を維持拡大するなかで、自立した事業としての継続を期待する。	
3	ぶらっと鎮玉 探訪	1 ホタル鑑賞のタベ 2 重要指定文化財の鈴木家でのホー・フェスティバル(9月) 3 秋のいなさ路 ぶらっとウォーク	1 地域の資源を最大限に活用したイベントの実施による魅力発信及び地域外の人々の定住化への促進 2 地域の魅力の再認識と地元への誇りの向上	①ホタル鑑賞のタベ 開催日：平成25年6月15日 参加者：250人 ・引佐北部小中学校家庭において露店を出し、地域内外の人が集う場所を提供した。また、ホタルの専門家からレクチャーを受け、鎮玉が自然豊かな地域であることを再確認する環境教育の場を提供した。その後、神子川沿いのホタル鑑賞ツアーを実施した。 ②鈴木家でのホー・フェスティバル 開催日：平成25年9月22日 参加者：100人 ・重要指定文化財である鈴木家住宅にて、ミニコンサートや各種パフォーマンスを実施した。近くの梅平お堂野原では、地域の農産物や趣味の品を販売する軽トラ市を開催した。 ③秋のいなさ路 ぶらっとウォーク 開催日：平成25年11月10日 参加者：180人 ・8kmコースと5kmコースを設け、地域の名所を巡るウォークラリーを実施した。本部である的場公民館では、音楽やダンスなどのプログラムを実施するとともに、各種の出店も展開した。	1,613,400 (806,000)	地域に生息するホタルや文化財の地域資源を活かしたイベントに地域住民が参加したことは、地域の魅力を再認識する貴重な機会になったものと認められる。また、地域外から500人を超える観客を得たことは、中・山間地域の集客にとって大きな出来事であり、地域への情報発信や都市部の住民との交流のきっかけになり得た。 今後は、組織の活性化や人件費に係る経費を見直す等により継続可能な事業として、より多くの人との交流の場になることを期待する。	
4	北区・わくわく元気プロジェクト「みをつくし劇団」	地域の農産物を販売する「都田朝市」のほか、子供向けイベント「都田朝市」の開催や健康フェア、ウォークラリー、ウォークラリー、ウォークラリー等の実施	1 地産地消の促進 2 子どもの学習意欲の向上 3 健康や福祉に関する啓発と意識向上 4 防犯意識と地域の抑止力の向上	1 地域知識や施設・設備を活かした事業を、学生ボランティア中心に展開した。 2 地域団体等との連携強化を目的とした「都田朝市」の開催 11月9日～10日開催、参加団体延べ30団体、来場者延べ約700名 2 地域の子ども達に学びの場を提供するための「キッズオーブンキャンペーン」の開催 8月11日開催、参加者945名(うち子ども583名) 3 幅広い世代に健康や介護を考える機会を提供する「北区・健康フェア」の開催 9月28日開催、来場者188名(うち30代4.2%、40代5.1%、50代12.7%、60代37.3%、70代～40.7%) 4 区民の健康増進と地域の美化を目的とした「健康ウォーク2013」の開催 11月23日開催、参加者延べ97名(当初10月26日の実施予定を、台風接近のため順延した) 5 地域住民と障がい者、児の交流促進を目的とした「スपोर्टスフェスタ」の開催 11月9～10日、30日開催、参加者延べ193名 6 通常の地域防犯活動と連携した「防犯シンポジウム」の開催 10月30日開催、来場者85名	1,440,147 (576,000)	大学が持つ専門的知識及び施設に加え、学生ボランティアのボランティア力を活かして、地域の様々な団体と協働で数多くの参加者を集める事業を実施したことで、地域の活性化に大きく寄与したと認められる。また、若者の地域活動への参加が求められる中、この事業は、学生ならではの悪性知識を十分取り入れた計画がなされた実施されていることは高く評価でき、今後も他事業の参考となるものである。 今後は、地域との連携を更に進める中で、地域に密着した活動を推進していくとともに、自立した事業として継続していくことを期待する。	

事業名	実施者・事業実施者	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費 (補助金額)	事後評価
5 郷江風あげまつり	郷江風の会	第10回郷江風あげまつり 第10回郷江風あげまつり ・三方原ミニ二風合戦、全国伝承の歴史、ジャーンケンゲーム、田原風の披露、風あげ体験等	1 日本各地で育まれた風の歴史、文化、技術の継承 2 地元元の歴史である三方原合戦の周知 3 地域産品の紹介による地域活性化	第10回郷江風あげまつりの開催 開催日時：平成25年11月24日(日) 午前9時～午後3時 開催会場：浜松市郷江総合グラウンド芝生広場 参加者数：約200名(1都11県より風愛好家55団体約200名が参加) 1 三方原ミニ二風合戦(徳川、武田両軍各々15名によるミニ二風合戦) 2 子ども風なこあがれ(親子で原作や教室の開催) 3 全国の風の競演(日本の伝統風や奇抜な創作風、外国製の風の披露、来場者も風揚げ体験) 4 出世大名家康くんとしゃんけんゲーム(家康くんとしゃんけん、勝てば記念風) 5 風のF1「田原風」(愛知県田原市の田原風保存会による名人の妙技の披露) その他、大道芸、物産展等開催 ※風あげまつりを通して、全国の風愛好家や市民による交流が図られ、風の歴史、文化、技術の継承する機会となった。	418,040 (209,000)	全国の風愛好家55団体の招聘により、風を通じた地域間交流が図られたことに加え、三方原合戦等の地域の歴史を主軸とした風関連のイベントに多くの市民が参加したこと、風の歴史、伝統文化、技術の継承にまつたものも認められる。 また、地域産品の一定の認知度向上が図られた。 本事業は、北区の歴史文化を活かした新たな事業として実施されたことから、今後は、より多くの来場者を得るための方策を確立し事業効果を高め、事業を継続していくことを期待する。
6 少子高齢化地域力向上事業	静岡県立浜松工業高等学校 後援会	1 高齢者対象のインターネットとセキュリティ講座 2 高齢者対象のメール活用講座 3 小学生から中学生のものづくり教室 等	1 高齢者の社会参加機会の提供 2 地域の子どものものづくり教育の支援	1 高校生の知識や高校の設備を活用した市民向け講座を2回実施した。 ① ものづくり木工教室(小・中学生向け) ・実施日 11月26日 ・参加者 中学生3名 ② 高齢者のためのインターネットとセキュリティ講座 ・実施日 11月16日 ・参加者 高齢者9名 2 参加申込者の少なさから、以下2講座を中止した。 ① 携帯電話で孫とメールの操作方法 ② 初級プログラミング講座 スマートフォン向け	198,440 (99,000)	この事業は、高校生の知識、感性や高校の施設を活用し、小学生から高齢者までを対象に事業展開をしたことで、地域活動への若者の参加や世代間の交流等に寄与したと認められる。 参加者は少なかつたものの参加者個別の評価は高かつたことから、今後、高齢者・小中学校団体との連携・協力を得る等の効果的な参加者の募集方法を構築すること、多くの参加者を募り、事業を継続していくことを期待する。
7 ふるさと金指歴史かるた本作成事業	金指歴史同好会	平成21年度から編集してきた「かるた形式の冊子」を800部作成し、地域や近隣の小学校、公民館、社会教育団体に配布し、地域を知る教材として活用する。	1 学校の地域学習や、世代間交流の教材として活用できる。 2 地域外の輸入者が地域をより深く知ることができ、地域コミュニティの活性化に寄与できる。 3 北区の歴史的認識を高められる。	・印刷部数800冊、A4版フルカラー85頁、戦国時代から現代までの金指の歴史や旧跡をいれるは順のかるた形式で紹介している。 ・「かるた」が写真やイラストであること、や「かるた」の背景となる説明文が、子ども用と大人用の2種類を掲載してあることから、子どもにもわかりやすい内容となっている。 ・金指と周辺地域に関する歴史年表、金指の発展地図、旧地名(小字)の由来、金指の歩みと近隣の家、金指の著名人名も掲載し、新しく輸入してきた住民だけでなく従来の金指の住民も興味もてる内容となっている。 ・図書館、区内公共施設等へ寄贈193冊、金指地区ほか希望者へ販売567冊	750,000 (375,000)	製作された冊子は、子供から大人まで興味が持てる工夫がなされており、金指地域の歴史・文化の継承だけでなく、地域意識の醸成や世代間交流のためのツールとしても活用可能なものであると認められる。 今後は、作成した冊子を小学校での教材としたり、地域の歴史を伝えるための活動に活用したりする等、地域コミュニティの活性化のためのツールとして更に活用していくことを期待する。
8 姫街道フォーラムin三ヶ日	姫街道連絡協議会 姫街道未来塾	1 姫街道フォーラムin三ヶ日開催 (三ヶ日市内の姫街道に隣接する講演会やフォーラムイベント) 2 姫街道検定発表セミナー(「姫街道検定」の表彰・解説と講演会)	1 姫街道に関連した地域の歴史に対する理解度が向上できる。 2 自主事業の「姫街道検定」の拡充により、地域への交流人口が拡大できる。	姫街道フォーラムin三ヶ日開催 開催日：平成25年9月21日(土) 参加者数：85人 内容：講演①姫街道と地震 講師：鈴木義男氏(三ヶ日町郷土を語る会副会長) 講演②浜引きの糸、還州・三州から伊勢神宮まで 講師：下江利幸氏他2名 姫街道フォーラムin三ヶ日開催 開催日：平成25年10月5日(土) 参加者数：65人 内容：佐久目駅～佐久目城～姫街道～三ヶ日駅 姫街道検定発表セミナー 開催日：平成26年1月26日(日) 内容：姫街道検定結果の解説及び表彰 検定応募者数：99人(内満点13人) 現地研修会 細江神社・姫街道と師講の歴史民俗資料館 現地研修会 細江神社・姫街道と師講の歴史民俗資料館 ※姫街道と周辺の歴史文化を学ぶ中で、交流を図り、次世代への残せる活動が行なわれた。	462,430 (231,000)	姫街道に関連した歴史・文化を広く紹介し、後世に継承していくとともに、事業により姫街道の知名度を上げることで、地域の交流人口の増加や地域活性化に寄与していると認められる。 本事業は、北区に限らず、東区や東三河も関わる取り組みであることから、今後は、他地域の関係団体等とも更なる連携を深めることに加え、更なる参加者増加を期待すること、事業効果を高めたいという事業継続の意欲が強いこと、今後の事業継続にあたっては、より円滑に事業を遂行するための計画が求められる。

事業名	実施者・事業実施者	事業内容	事業効果	事業実施状況	総事業費 (補助金額)	事後評価
9 浜川名所大編 集	Reiメイ わかふし	1 地域資源の掘り起こし、編集、散策コースの設定 2 ウォーキングイベントの開催 3 案内冊子等の作成、案内店舗等の設定、ホームページによる告知	1 地域住民の地域愛の醸成に寄与できる。 2 既存のイベント等で、散策コースを活用できる。 3 訪れた方の満足度が向上でき、交流人口の増加や地域活性化が図られる。	①浜川の自然、史跡を巡る散策コース制作のためのウォーキングイベント 開催日：平成25年11月24日 参加者：63名 ・浜川歴史と文化を守る会の案内により地元住民及び認知度向上や有効活用に川市街地にある史跡を中心に散策し、おすすぬ散策コースを3つ考案した。 ②散策コースの案内板、史跡の看板の製作 開催日：平成26年1月19日 参加者：20名 ・テザイン、製作は全て地域住民の手によるもので、看板書きには地元小学生の親子も参加し実施した。 ・史跡にはそれぞれの案内板・看板があるものもあるが、統一したものでなかったため、統一することにより、史跡の存在がはっきりと目立つようになり、多くの人が認識しやすくなった。 ③浜川おさんぽマップ、歴史と自然の案内冊子の作成 印刷部数：マップ5000部 冊子3000部 ・史跡の看板とあわせてマップと史跡・自然を説明する冊子を作成した。 ・浜川区内に全戸配布した。また浜川を訪れる人が手にすることができるよう近隣の商店、観光案内所等に設置した。	421,000 (210,000)	地域住民が参画したことにより、史跡・名所の魅力の再認識や地域愛の醸成に寄与できた。また、地域資源を活かしたイベントにより認知度向上や有効活用に繋がったものと認められる。 今後は、作成したマップや冊子を活用し、ホームページ等による地域情報・魅力の発信に努め、交流人口が増加につながることも、更なる事業展開により、地域の活性化を期待する。
10 冒険遊び場をつくろう！	みやこだ自然 学校の会	1 「冒険遊び場」と自然遊びの開催 2 専門家による公演会・報告会の開催 3 ツリーハウスの環境整備	1 子どもたちの心と体の成長が保証される。 2 青年層の自己実現と居場所が提供できる。 3 子育て世代の交流と癒しの場が提供できる。 4 企業の社会貢献の場が提供できる。	1 冒険遊び場の整備活動 ・11月1日～3月23日(実施延べ29名) 2 プレーパークの実施 ・11月30日～2月23日(実施延べ80名) 3 プレーパーク専門家の講演会の開催 ・3月8日実施、参加13名	475,776 (225,000)	地域の住民や企業の関わりの中で、「冒険遊び場」の一般開放に至ったことは、地域内交流や世代間交流のきっかけとなり得たことに加え、新たな子供の遊び場の提供により地域に貢献したものの評価できる。また、遊び場の整備活動を通して、学生リーダーの育成や運営ノウハウの集積がなされ、自主運営のための体制が整えられた。 今後は、自立した運営を視野に入れ、予定よりも参加者が少なかつたことに対する検証や、一般開放された「冒険遊び場」の更なる活用と情報発信を行うことで、より多くの市民が利用できる体制を整えるとともに、他地域への波及も期待する。

平成25年度の地域力向上事業について、事後評価を行いました。

市民提案による住みよい地域づくり助成事業

評価項目と判断基準

評価項目	判断基準
事業の公益性	<ul style="list-style-type: none"> 区民の福祉の向上につながるなど、公益性があったか。 ニーズが高い分野であるか。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 区の課題が解決されたか。(今後期待できるか) 事業の効果が広く区民に波及するものであるか。
経済性(費用対効果)	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額に見合う効果が得られたか。(今後期待できるか) 区民の理解が得られる補助金額であったか。
評価点	A=高い、B=やや高い、C=やや低い、D=低い

No	事業名	提案者(実施者)	事業内容	事業費(千円)	市補助額(千円)	公益性	効果	経済性	評価コメント
1	二俣の生んだ彫金芸術の巨匠「二橋美衡」と「天竜二俣100景」展	浜松市天竜文化協会	展覧会「彫金芸術の巨匠「二橋美衡」と「天竜二俣100景」展」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 会期:6月7日～9日 会場:二俣協働センター 内容: <ol style="list-style-type: none"> 「二橋美衡」彫金作品等の展示(所蔵者より借用)50点 	470	128	A	A	A	3日間の会期で予想を上回る600人の鑑賞者数を集めたこと、また、文化協会会員のボランティア活動により少ない費用で効果を上げることができ地域振興
			2. 「天竜、二俣」を描いた住民の絵画作品の展示30点 <ul style="list-style-type: none"> 印刷物: <ol style="list-style-type: none"> 展示会冊子「二橋美衡展」の発行300部 100景展パンフ200部発行 PR用ポスター(B2)100枚、案内ハガキ300枚作成 鑑賞者数:600人 						につながったことが評価できません。今後も多くの人に関心をもっといただくよう継続した活動を望みます。

2	読本「平野運平」の刊行、講演会の開催	平野運平を顕彰する会	<p>1. 「読本ブラジル移民の父平野運平」の発行、頒布</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 規格:A5判、本文170ページ、表紙カラー、本文一色刷り ■ 作成部数: 1,500部(1部880円税別) ■ 発行日:8月3日 ■ 配布:天竜区内(行政機関、文化学習施設、小中学校)市内図書館150部 <p>2. 発刊記念講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時:8月3日 午後1時30分 ■ 会場:二俣協働センター ■ 参加者:80人 	1,019	500	B	B	B	郷土の偉人を紹介することで、郷土愛、道德観の醸成につながった事業として評価できます。これをきっかけに、今後の顕彰事業へとつなげていくことが期待されます。
3	信濃畑さくらコンサート	春野町長蔵寺応援団	<p>日時:4月6日午前10時30分～午後2時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者114人 ■ 地域ボランティアスタッフ町内外37人 ■ 花木(ハナモモ)の植樹を行い花咲き 	217	52	A	A	A	地域住民もボランティアスタッフとして参加するなど地域コミュニティの醸成にも寄与している手作りのイベントと
			<p>乱れる春野町長蔵寺を宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元特産品である茶、しいたけ、野菜を販売 ■ 春野にもゆかりのある邦楽グループJI-ONIによる二胡の演奏コンサート 						して評価できません。助成事業採択の3年を経過しましたが、この「さくらコンサート」を中心として、さらなる交流の輪が広がることを期待します。

4	スポーツ 振興網 引普及 事業	みさく ぼ網 引俱 楽部	<p>峠の国盗り綱引き合戦への参加協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地元での綱引き大会の開催(7月14日開催参加7チーム) ■ 県大会等対外大会への参加(4大会参加) ■ 普及活動指導(年5回実施) 	180	85	B	B	C	<p>綱引き人口の増加、他地域からの参加により、峠の国盗り綱引きの魅力向上や、地域のPR、交流人口の増加につながったことが評価できます。今後も地元での綱引き大会への参加チームを増やし綱引きを通じた交流人口の増加へとつなげていただきたいと思います。</p>
5	浜松史 劇団演 劇公演 「金原明 善」	NPO 法人 遠州 率シア ター	<p>天竜川の治水事業に取り組んだ浜松の偉人「金原明善」の人生と偉業を伝える演劇公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時:12月1日午後3時 ■ 会場:佐久間歴史と民話の郷会館大ホール ■ 来場者数:100人 ■ 公募による出演者数:10人(練習期間8月~11月) 	1,513	750	A	B	C	<p>市内の偉人について、演劇を通じて伝承していく取り組みは評価できます。しかし、集客面においては、計画よりも少ない来場者数でした。事前告知PRが不十分でありました。今後の課題として取り組んでください。</p>

6	徳川信	劇団	開催:平成26年3月9日	497	160	B	B	B	地元の各種団体
	康戦国ド ラマ普及 事業	砂喰 社	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者数:25人(定員40人) ■ 参加費:5,000円 ■ 内容:天竜区内に数多く残る戦国時代の史跡を巡るバスツアーの企画、運営、地元協力団体の解説と伴に仮装スタッフによるツアーガイド及び高根城・二俣城跡を題材にした演劇を実施。 ■ 行程:天竜二俣駅(乗車)⇒高根城⇒二俣城跡⇒国盗り⇒清瀧寺⇒本田宗一郎ものづくり伝承館⇒二俣商店街散策⇒天竜二俣駅(下車) 						<p>が史跡の解説を行ったり、史跡にちなんだ演劇を各所で採り入れたりする事によって、天竜区の歴史的魅力を発信したことが評価できます。</p> <p>一過性のものでなく、今後も魅力ある継続した企画や交流人口の拡大に向けた事業展開を期待します。</p>
7	北遠山 里めぐり	北遠 山里 めぐり 実行 委員 会	<p>開催:平成26年3月15日～30日の土・日・祝日</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者70軒 ■ 訪問者延べ1,933人 ■ 山里の暮らしの姿、工房、店等をオープンハウスで体験、見学 ■ 来場者は各自で自由に各オープンハウスを訪問 	594	252	A	A	A	<p>天竜区に移住してきた人たちが中心となって、北遠地域の暮らしの「姿」や人々の「温もり」、地域の良さを直接肌で感じていただくこの手法は、多くの交流につながったとして評価できます。口コミは大きなPRにつながります。今後の展開に期待します。</p>

8	<p>オールド カーin K'z ROAD</p>	<p>快走 YKG</p>	<p>片山豊氏(浜松市やら まいか大使、春野ふる さと大使)生誕の地、天 竜区春野町に設置され たK'zROAD(ドライブ コース)を全国にPRし、 春野の歴史、文化、自 然に触れていただくこ</p>	1,228	452	B	A	A	<p>地域住民の企 画・運営による 事業実施は、こ れまでの行政主 導のイベントに はない盛り上が りを見せていま す。メディアにも</p>
			<p>とを目的として、市民団 体により開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開催:5月26日 ■ 来場者数およそ 8,000人 ■ 内容: オールドカー、Zカ ーの展示(全150 台)、オールドカー パレードラン、レア グッズのオークショ ン、カーグッズ販売 や地元物産の販 売、春野高校によ る秋葉太鼓の演奏 ほか 						<p>多く取り上げら れている点で も、天竜区なら ではのイベントと して評価できま す。今後の継続 を期待します。</p>
9	<p>阿多古 川の資 源を活か した環境 保全事 業</p>	<p>阿多 古川 環境 保全 協議 会</p>	<p>環境保全啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 啓発パトロールの 実施 ■ 周辺環境整備・啓 発グッズの配布に よる河川環境保全 PR <p>景観形成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 竹林伐採(荒廃し た)河川の清掃美 化作業 <p>地域資源活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 竹材(伐採した)に よる堆砂垣の製作 ■ 堆砂垣運搬 	497	241	A	A	A	<p>都市部と農村部 が共存する市の 地域性を活かし た他区団体との 交流は、河川愛 護の枠を越えて 双方の地域課題 解決に繋がるも のと評価できま す。 今後も大小の視 点での地域課題 を解決するととも に、住民のさら なる環境保全に 対する意識の向 上につながって いくことを期待し ます。</p>

10	美林天竜・森と川を守るキャンペーン	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会	<p>日時:9月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会場:天竜壬生ホール ■ 入場料:500円 ■ 入場者数:345人 ■ 天竜区民を中心に50人のミュージカルチームを結成 ■ 水環境をテーマにしたミュージカル 	1,007	500	B	A	B	事業実施後のアンケート結果では、来場者の半数以上(118人)が区外の観客であることから、出演者はもとより、観客(流域住民)が豊かな水環境
			「かっぱの総理大臣」の創作体験、発表公演、舞台公演						の大切さを考える機会となったことは評価できません。
11	歌と笑いで天竜区を楽しく元気に！文化芸能観賞会展開事業	ミナの森プロジェクト	<p>区内文化会館、ふれあいセンター等で落語、講談、音楽、演歌等の公演を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 落語・講談 3日間6回公演、観客115人 ■ 音楽 2日間4回公演、観客98人 ■ 演歌 4日間4回公演、観客188人、9日間14回公演 <p>観客合計402人</p>	2,263	1,108	B	B	B	文化芸能を観賞できる機会が少ない中山間地域において、これまで行政主導で実施した文化芸能鑑賞会を市民協働で実施したことは評価できません。今後は、内容やPR方法などを工夫しながら、定期的な自主開催ができるように期待します。
12	天竜区で暮らす未来生活人創出事業	天竜商工会青年部水産支部	<p>天竜区で暮らす未来生活人の募集及び地域PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 区内を巡るバスツアーの開催 ■ 参加者12人 ■ 天竜焼き陶芸体験 ■ 意見交換会の実施 <p>地域の情報提供者の確保(6人) SNS立ち上げ及び運営(記事投稿数24件)</p>	362	150	B	B	B	都市部在住者を活用したこの事業は、地域の情報発信の強化と都市内交流という区の2つの課題解決を目指したものであると評価できます。これらの課題は、短期的な取り組みでは解決できないものであることから、今後の継続的な事業実施を期待します。

森岡の家について

経緯

元静岡銀行頭取故平野繁太郎氏の所有であった家屋等が、平成 5 年に平野家から市に寄付され、平成 6 年から施設の観覧（無料）及び和室の貸し出し(有料)を行ってきた。

平成 20 年に耐震性に問題があることが判明したため、平成 21 年から和室の貸し出しを休止し、施設見学のみとした。

施設概要

- 1 居宅は明治 21 年に良質の材を用いて建造、昭和初期に一部増築、昭和 58 年に縮小し改築。長屋門、土蔵は江戸時代後期との伝承があるが、明治 21 年の居宅の建造時に相当の改修が施された模様。白蟻の被害が大きい。
- 2 耐震性は Is 値 0.07 と極めて低く、ランクⅢ（倒壊する危険性がある）に該当。
- 3 利用者は平成 20 年度が 1,167 人であったが、施設見学のみとした平成 21 年度は 372 人、平成 24 年度は 232 人と減少している。

経過

- ・平成 5 年 8 月 6 日 平野家相続人代表平野隆之氏から寄付の申し込み（土地 4,292.95 m²、居宅、長屋門、土蔵
- ・平成 20 年 耐震調査実施。Is 値 0.07 ランクⅢ（倒壊する危険性がある）に該当
- ・平成 21 年 4 月 1 日 施設の利用は当面中止。施設見学のみを受付とする
- ・平成 24 年 5 月 31 日 旧平野家住宅建造物群調査報告
- ・平成 24 年 6 月 19 日 台風 4 号により、敷地内の松の木が倒れて土蔵を直撃。屋根を割り天井を突き抜ける
- ・平成 25 年 9 月 25 日 市長に浜北区長から「森岡の家」の廃止を説明
- ・平成 25 年 9 月 25 日 資産経営推進会議で「森岡の家」の廃止を了承
- ・平成 25 年 10 月 15 日 行財政改革特別委員会協議会で「森岡の家」の廃止を報告
- ・平成 25 年 10 月 18 日 「森岡の家」廃止について自治会役員へ意見を伺う。隣接住宅地への落ち葉被害、台風等の倒木が心配のため、高木については処理を求める要望あり
- ・平成 25 年 10 月 22 日 浜北区協議会が「森岡の家」現地視察
- ・平成 25 年 12 月 9 日 浜北区協議会に「森岡の家」の廃止を諮問
- ・平成 26 年 1 月 23 日 浜北区協議会から「森岡の家」の廃止について答申あり。「了承」
- ・平成 26 年 3 月 13 日 市民文教委員会において「森岡の家」条例廃止について審議
- ・平成 26 年 3 月 24 日 浜松市議会において「森岡の家」条例廃止について議決
- ・平成 26 年 9 月 30 日 一般社団法人西遠連合報徳社から「森岡の家」解体関係の予算執行凍結を求める要望書が市長あて提出



第9号様式

区 協 議 会

区 分	■ 諮問事項 □ 協議事項 □ 報告事項
件 名	浜松市森岡の家の廃止について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	背景：この施設は元静岡銀行頭取の故平野繁太郎氏から平成5年に旧浜北市に寄附され、平成6年から施設の見学（無料）及び和室の貸出し（有料）を行ってきた。 経緯：平成20年に耐震性に問題があることが判明したため、平成21年から和室の貸出しを休止し施設見学のみとしてきた中で、平成24年に実施した建物調査による文化的価値の評価を受け、保存か取壊しかについての検討を重ねてきた。 課題：施設の老朽化が激しく耐震性も劣るため、倒壊の危険性も高く、施設の継続活用は極めて困難である。
対象の区協議会	浜北区協議会
内 容	・平成26年3月31日をもって「浜松市森岡の家」を廃止する。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	答申を得たい時期：平成26年1月 今後の予定：解体（予定）にあたっては、建物の価値を後世に伝える調査を実施し、冊子にまとめる予定。 また、お蔵の中の所蔵品については、博物館に協力依頼をし、保存等の判断をする予定。
担当課	浜北区まちづくり推進課



第10号様式

浜北区協第 5 号

平成26年1月23日

(あて先) 浜松市長

浜北区協議会

会 長 西村 恭一



諮問事項に対する答申について

平成25年12月9日付け浜市協第185-2号で当協議会に対して諮問のあったことについて、浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例第11条第1項から第3項の規定に基づき審議した結果、下記のとおり答申します。

記

- 1 答申内容 別紙第11号様式のとおり



第11号様式

諮問事項に対する答申書

浜北区協議会

件名	浜松市森岡の家の廃止について
諮問内容	平成26年3月31日をもって浜松市森岡の家を廃止すること。
答申	<p>諮問内容について審議の結果、適切であると認めます。</p> <p>ただし、本協議会としては、この事業について次のとおり意見を提出します。</p> <ul style="list-style-type: none">・寄贈者の想いに配慮し、浜松市森岡の家の記録を残し、貴重な装飾、所蔵品等で展示が可能なものについては、今後も鑑賞できるような方法を検討すること。
備考	

森岡の家平面図

○=イチョウの胸高幹周りを測定

